



3月11日 東地申51号

「2020年度営業関係施策（その4）」についての申し入れ【金町駅】

団体交渉を行う！【その1】

1. 金町駅において、現在表れている作業ダイヤ上の問題とそれに基づく業務実態において表れている問題を解決すること。

会社
回答

金町駅の作業ダイヤにおいて大きな問題が発生しているという認識はないが、今後もお客さまのご利用状況等を踏まえ対応していく。

具体的に問題として表れている3点の事象について会社と議論を行う！

①早番社員の起床時刻が4:00にもかかわらず、シャッター開扉時刻が4:00になっており、超勤前提の作業ダイヤになっているが、現場では超勤をつけられない風土になっている！

組合

- 会社の認識は？
- 起床確認簿も全て4:00にシャッター開扉。スタンパー確認も4:00以降だがシャッター開扉前に確認すべきでは？見習いの先生からそのように教育されている。
- 本来は4:15開扉だ！信号所が他駅との電話点呼をやるため4:00になっている！
- この間の超勤はどうなるのか？
- 見習い教育で4:00に開けてと言われ、お客さまも待っている。それで4:10が正当というのはおかしい。

会社

- 早番の起床が4:00、シャッター開扉が4:10である。
- 4:00開扉はローカル的にそうなっているのでは。
- 早めに開けたいという思いがあったのかもしれない。現場と認識を合わせ、4:10にする。
- 指示があれば超勤。本人が早く開けようと思いやったことが超勤になるかは、この場では判断できない。
- この場では即答できないので、駅が把握しているのかを調査し、後日返答する。いつからこのようになったのかなども調査する。

そもそも会社の認識がズレている！超勤を付けづらい風土も問題だ！

②分任も行う輸送主任の作業開始は8:45だが、入換業務がある場合は8:30から行っているのが常態化している。これも超勤がついていない。

組合

- 調査を行うべきだ。作業を行っている場合は？業務であり、申告して超勤申請すべきものだ。
- 券売機対応などは指示が無い。超勤を付けづらい風土を改善すべきだ。
- 券売機対応で、職制が下の社員が上の社員を呼ぶのは難しい。内勤で券売機になっていることをわかるようにしてほしい。あるいは、出札側に内勤を移設できないのか？

会社

- 申告出来ない仕組みなら改善するが、指示も申告もないものを全て調べるのは難しい。やったから全て超勤ではなく、早めにやっておきたかったのか、やらなければならなかったのかは把握する。
- 券売機対応時は内勤を呼んだりして対応してほしい。超勤を付けやすい環境を整えていく。
- 案の一つ。内勤でわかる仕組みは整えたい。

具体的な業務指示が無かったとしても、業務をした場合は超勤を支払うべきだ！

その2へ続く⇒



3月11日 東地申51号

「2020年度営業関係施策（その4）」についての申し入れ【金町駅】

団体交渉を行う！【その2】

<1項続き>

③松戸終1：13発車のところ、発車前に券売機シャッターを閉扉している。

組合

- 最終電車発車前に切符が買えないという大問題だ！会社の認識は？
- 見習いの時「2枚あるシャッターどちらも閉めてよい」と教育された。
- 営業事故にあたるのではないか？
- シャッター開扉遅延と同等。商品を故意に提供しなかったということになる。
- このような事象に謙虚にならなければ、営業事故や会社の社会的信用失墜につながる。

会社

- 一部シャッターを閉めている実態はあったが、切符が買えないというわけではないという認識。
- そのような認識はなかったのでは是正する。
- 申告して買えるようにするのであれば営業事故にはならないが、営業中にシャッターを閉めるのは良くない。
- 閉めたとしても、すぐに開けて対応すれば大丈夫。
- 実態を確認して、是正していく。

「すぐに対応すれば大丈夫」

この積み重ねが営業事故につながる！会社も認識を改めるべきだ！

具体的な事象3点の調査を会社が行い、輸送サービス労組に返答することを確認！

- ①早番の朝、4：00作業開始のところ、4：00以前に準備を行い、4：00にシャッター開扉していること
- ②8：45作業開始である輸送主任の引継が8：30から行われていたこと。
- ③終電発車前に券売機シャッターを閉扉し、切符を購入出来ない状態にしていたこと

2. 金町駅出札窓口を閉鎖する根拠を具体的に示すこと。

会社回答

ICTを活用した商品購入の利便性向上と購入形態の変化を踏まえて、効率的な駅業務執行体制を構築するために販売体制を見直すものである。

組合

- 閉鎖の根拠は？
- 現場はセルフ購入比率を上げる努力をしているが、それが窓口閉鎖につながるの現場の思いとズレる。そもそもセルフ購入比率の趣旨が現場ではわからない。
- 金町駅周辺の環境の変化は？

会社

- セルフ購入比率が2020年度は82%。MVでの定期券購入の数値などもみて判断。
- セルフ購入比率はお客さまの利便性向上である。
- 再開発でマンションや大学が建設されているが、出札閉鎖でも問題ないという認識

セルフ購入比率が利便性向上？出札廃止で利便性は低下する！

その3へ続く⇒



HOMEPAGE



TWITTER

3月11日 東地申51号

「2020年度営業関係施策（その4）」についての申し入れ【金町駅】

団体交渉を行う！【その3】

<2項続き>

組合

- どのように利便性を維持するのか？
- 周辺人口は増えているのか？
- サービス低下にならないのか？
- 「話せる指定席券売機」の導入は？
- いま窓口を利用になるお客さまには理由がある。そのようなお客さまはMVで対応可能ということか？
- 体制変更後の案内は？
- ご高齢のお客さまが多いが、県を跨いで松戸にいくとくれというのはどうなのか？
- マルスは残すのか？柔軟な対応ができる体制を残したほうが良い。
- 券売機の調子も良くない。Suica 定期券の印字が出来ないがメカトロは問題ないと言っている。

会社

- 定期多売期は、地区指や支社の応援等で体制を取る。
- 増える要素はある。葛飾区に説明した際には、販売体制よりも改札増を求める要望であった。
- 窓口でなければ対応できないものは近隣駅に案内する仕組みを整えている。
- ご利用実態を見極めるが、導入の考えはない。
- 9割以上はMVで発券可能。
- 助役あるいは改札社員が窓口を閉めて対応。
- 買い物と一緒にタイミングで行ってもらうなどの対応になる。お客さまに説明してもらいたい。
- 稼働させないと、動かそうとしたときに動かないこともあり得る。ランニングコストもある。
- 関係箇所に伝える。

会社の都合を地域に押し付けている！

3. 出札窓口閉鎖の施策によって発生している問題やお客さまのご意見に対する支社の認識を示すとともに具体的な対策が図られるまで、金町駅出札窓口の閉鎖を延期すること。

会社回答 順調に推移しているという認識であり、延期する考えはない。

- 出札閉鎖でお客さまからのご意見は？
- 社員の負担は増えるのではないかと？
- 出来ないことへの対策が取れていない。
- 教育されていないことがあり、不安が残る。

組合

会社

- いただいている。
- 機械の性能も上がっているので負担は減る。
- 近隣駅での対応など、出来る事で対応してほしい。
- 現場に伝えていく。

実際は「すごく待たされた」など苦情が多い！お客さまの声を聞くべきだ！

4. 作業ダイヤは、社員の意見を反映して、働きがいを実感できる作業ダイヤとすること。

会社回答 作業ダイヤは、お客さまのご利用状況等を踏まえ、駅長による定例的な業務指示・命令を図式化したものである。

- 社員の意見を反映したダイヤとすること。
- 信号所が不在になる時間は？

組合

会社

- 社員の意見を踏まえて作成する。
- 信号所は空にならない体制を考えている。

**施策実施ありきの姿勢では社員もお客さまも不幸になってしまう！
まずは一度立ち止まり、しっかりと土台を構築すべきだ！**